

**平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和元年 12 月
海老名市立社家小学校**

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学, 英語)
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 漢字を文中で正しく使う
 - ・正答率も高く、無解答数も少なかった。
- 目的や意図に応じて理由を明確にしながらかく
 - ・全国平均を9ポイント上回っている。

◆課題のある点

- 話す・聞く力
 - ・話し手の意図を捉えながら聞いたり、目的に応じた質問を工夫したりする問題での正答率が低かった。
 - ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる問題では、正答率が全国平均の半分にも満たなかった。
- 同音異義語
 - ・正答率が全国平均より10ポイント低い。
- 無解答率
 - ・問題が後半になるにつれ、無解答率の高さが目立った。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 読書時間の充実
 - ・読書の時間を充実させることによって、表現する力のもとになる語彙力を伸ばしたり、意味による漢字の違いを理解したりできるように家庭と連携して取り組むようにする。
- 練習問題への取り組み
 - ・問題量と制限時間を併せて考え、自分にとって適切な時間配分ができるよう、繰り返し練習問題に取り組むようにする。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

○平均正答率

- ・平均正答率が72%で県平均、全国平均より5ポイント上回っていた。

○無解答率

- ・記述問題の3問以外では無解答率が0%であった。意欲的に課題に取り組む姿勢がみられる。

○区分別

- ・ほとんどの区分で全国の正答率を上回っていたが、特に、円の直径と円周の長さの関係の問題、記述問題の正答率が全国平均より10ポイント上回っていた。

◆課題のある点

○記述問題

- ・立式の根拠の説明を記述する問題では全国の正答率より2ポイント下回っていた。

○目的に合った情報を抽出し立式する問題

- ・文章題の情報を解釈し、立式に必要な数量だけを選び出し、数式にする問題において全国の正答率より1ポイント下回っていた。

今後の具体的な指導改善のポイント

○目的に合った情報を選択する力の育成

- ・複数の情報から問われている数量や立式に必要な条件を選択し目的に応じて活用する課題に取り組みさせることで、課題を発見し、自力で解決しようとする力を育成する。

○友だちとの学び合い

- ・友だちとの協働的な学習を通して、順序立てた説明によって思考を表現する力や伝えられた情報から必要な内容を選択し、相手の考えの根拠を解釈する力を育成する。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 算数に対する意欲の高さが見られる。
 - ・算数では、新しい問題を解いてみたいと思ったり、もっと簡単に解く方法がないか考えたりすることに興味を示す児童が多い。
- 話し合い活動
 - ・自分の考えを伝わりやすくするように工夫をして発表している児童が多い。

◆本校の課題と思われるところ

- 自ら考えて課題に取り組んでいる児童が少ない。
 - ・教師から与えられた課題には進んで取り組むことはできているが、家で自ら計画を立てて学習を進めることを、苦手としている。

生活について

◆本校のよかったところ

- 基本的な生活習慣が、身についている児童が多い。
- 日頃から読書活動を推進している結果、平日の授業時間以外に読書をしている割合が全国平均を上回っている。
- 最後までなし遂げた成功体験をもっている児童が全国平均より4ポイント多い。
- 自己肯定感が高い。

◆本校の課題と思われるところ

- 地域社会への関わり方が少ない。
 - ・「今すんでいる地域の行事に参加している」と回答した児童が全国平均を下回っている。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけない」と感じている児童が全国平均よりも低い。

今後の具体的な取組について

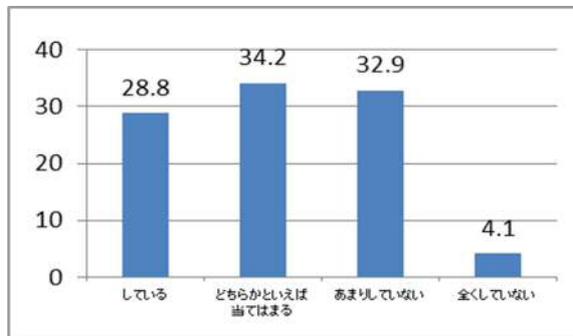
- 全学年で、家庭学習への取り組みを充実させていきます。
 - ・学校では、毎日家庭学習に取り組ませ、机に向かう習慣付けを図るとともに、基礎基本の定着を図っていきます。また、児童が自主的な学習に取り組めるように、家庭と連携を図っていきます。
- いじめに関しては、絶対に許さないという心情を養います。
 - ・学校生活全般において、いじめをおきにくくする指導を徹底していきます。
- 学級会活動を充実させていきます。
 - ・児童一人ひとりの意見を認め合い、学級の問題の解決方法をクラスの総意で決定するようにします。
- 読書活動をさらに充実させていきます。
 - ・図書館支援員や図書ボランティアと協力をして、活動の充実を図ります。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 計画的に学習に取り組みましょう

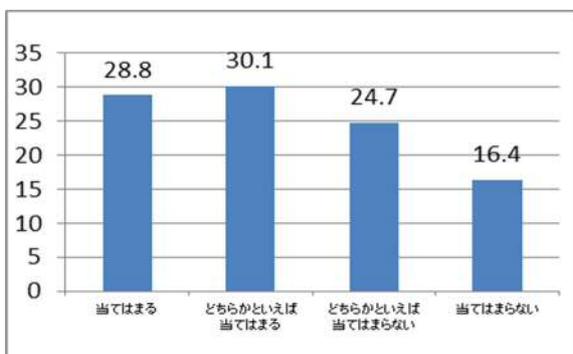
学校から出される課題だけでなく、予習や復習など自分で計画を立てて学習に取り組めるように励ましてください。



家で自分で計画を立てて勉強していますか

2 進んで地域の行事に参加しましょう

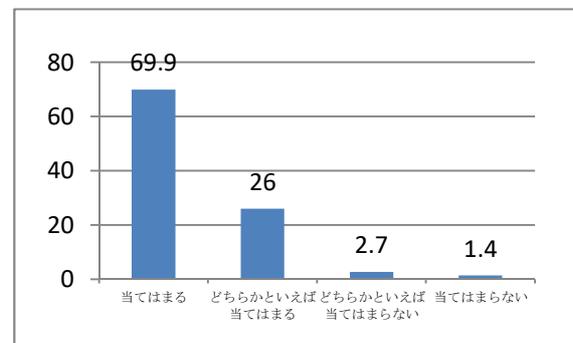
お祭りや清掃活動への参加など、地域社会への関わり方を考えてみましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

3 いじめのおきにくい学校生活をめざしましょう

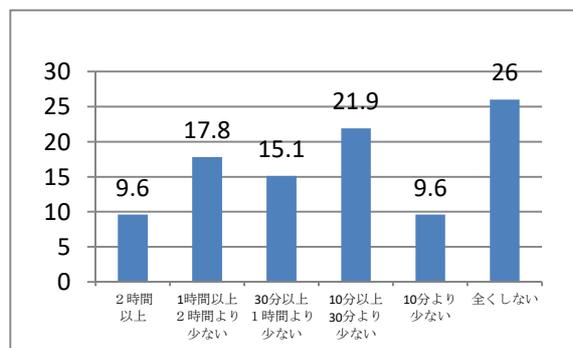
学校でも家庭でもいじめはゆるさないといい心情を養うために、話をする機会を作りましょう。



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

4 読書活動を質と量ににおいてさらに充実させていきます

読書の状況は良好です。これからも読書をする機会を増やして下さるようお願いします。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、読書しますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係



しゃけつくま